

## 令和5年度女子学生チャレンジプロジェクト募集要項

### 1. 趣旨

本学では、ダイバーシティ&インクルージョン推進の一つの取組として、研究活動においても、女子学生が今よりもましてリーダーシップやイニシアティブを発揮できる環境づくりを目指します。

本事業は、女子学生が、自らの好奇心や探求心を核としつつ、自分とは異なるさまざまな視点から議論し協働するプロセスの経験を通じて、研究の面白さに気づき、新しい課題にチャレンジする活動を後押しします。

### 2. 支援対象プロジェクト等

女子学生が所属の学部や研究室等の研究課題にとらわれず、自身の興味関心に基づいて設定した研究テーマに対してチームをまとめ上げ、課題探求するプロジェクト・活動を支援します。

#### (1) プロジェクト等の条件

- ・研究テーマの目的、並びに調査研究やワークショップ等の活動によって期待する効果、及び今後の展開が明確なこと。
- ・プロジェクトの達成までのプロセスや、その必要経費の使用計画が明確であること。
- ・既存の研究分野や社会政策にとらわれない独創的なテーマや新たな課題の発見になるようなものが望ましい。
- ・卒業論文、修士・博士論文の作成に直接必要な研究・調査活動等でないこと。ただし、設定したプロジェクト等の内容が将来の卒業論文、修士・博士論文の研究テーマにつながる、又は既に行っている卒業論文、修士・博士論文の研究テーマから派生した内容の場合は可。

#### (2) プロジェクト等の取組内容例

- ・●●●(テーマ)に関する実地調査やアンケートを実施し、その調査分析を行い、その成果をまとめた報告書を作成する。
- ・●●●(テーマ)に関する専門家を招聘する研究会を開催し、その結果、得られた新たな知見など、その成果をまとめた報告書を作成する。
- ・●●●(テーマ)に関する他大学とのネットワークを形成してワークショップを開催し、その報告書を取りまとめるとともに、新たな研究課題を提案する。
- ・●●●(テーマ)に関するフィールドワークを実施し、その調査分析や今後の研究の展開をまとめた報告書を作成する。

### 3. 助成金

1件につき上限100万円を奨学金として給付します。(5件程度採択予定)

(奨学金の使途の例)

- ・実地調査に必要な旅費等の活動費
- ・アンケート実施に必要な経費

- ・ 専門家招聘のための旅費、謝金
- ・ シンポジウム、研究会等に必要な会場借料、資料印刷、PR 費、通信費
- ・ 成果報告等に必要な印刷費、動画撮影、Web 制作、Web 配信費
- ・ その他、研究活動に係る消耗品費、備品費（10 万円未満）

#### 4. 実施期間

令和 5 年 7 月 1 日～令和 6 年 2 月 2 9 日

#### 5. 応募資格

- ・ 京都大学の女子学生（学部学生又は大学院生）※を申請者（チームリーダー）とする 2 名以上で構成するグループとします。（申請時に構成メンバー全員が確定している必要はありません。）
  - ・ チームリーダー以外のメンバーは性別を問いませんが、本学の学生※に限ります。
  - ・ 研究活動をサポートするメンター（教員）がいることが望ましいと考えますが、メンターの有無は選考に影響しません。
- ※本学の正規課程の学生を指します。

#### 6. 選考方法

- ・ 書類選考による一次審査を行います。
- ・ 一次選考通過者に対してプレゼンテーション形式の発表による二次審査を行います。
- ・ 男女共同参画推進センター教育・研究専門部会において、以下の観点からの評価点による審査を行い、上位者を採択します。

（評価の観点）

##### ① 明確さ

プロジェクトの目的、その活動により期待される効果、及び今後の展開が明確か。

##### ② 計画性

プロジェクトの達成までのプロセスや必要とする奨学金の使用計画が明確か。

##### ③ 独自性

既存の研究分野又は社会政策にとらわれない独創的なテーマや、新たな課題の発見になるようなものとなっているか。

#### 7. 選考及び選考後のスケジュール（予定）

申請締切	令和 5 年 5 月 15 日（月）
一次選考（書類選考）及び選考結果の通知	5 月下旬
二次選考（プレゼンテーション）	6 月中旬
最終選考結果の通知	6 月末
研究活動開始	7 月 1 日（土）
研究活動終了	令和 6 年 2 月 29 日（木）
実施（経費使用）報告書の提出締切	3 月 15 日（金）
プレゼンテーション形式による成果発表	3 月下旬

## 8. 応募方法

### (1) 応募受付期間

令和5年4月3日（月）～令和5年5月15日（月）

### (2) 提出書類

応募調書（別紙様式）

※別途、一時選考通過者には、二次選考用プレゼンテーション資料の提出を依頼します。

### (3) 提出方法

メールによる提出

### (4) 提出先

人事部職員育成課ダイバーシティ推進掛

TEL:075-753-2059（内線:16-2059）

E-mail: g-e@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

## 9. その他留意事項

- ・応募調書は、異分野の人にも理解しやすいよう作成してください。
- ・氏名・所属、本プロジェクトによる活動内容、成果等について、京都大学の公式 Web サイト、SNS、及び各種広報媒体で公表する場合があります。
- ・研究活動終了後、プレゼンテーション形式による成果発表に加えて、京都大学が主催する会議、シンポジウム等で成果発表を依頼することがあります。
- ・本助成金は、採択されたプロジェクトの支援を目的に給付する奨学金です。原則経費精算による返還等は不要ですが、活動終了後、実施（経費使用）報告書の提出を求めますので、領収書等の証拠書類は保存しておいてください。なお、実施（経費使用）報告書の提出がない場合や不適切な事例が判明した場合は、奨学金の一部または全額の返還を求める場合がありますのでご注意ください。

## 10. 本事業に関する問い合わせ先・相談窓口

人事部職員育成課ダイバーシティ推進掛

TEL:075-753-2059（内線:16-2059）

E-mail: g-e@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp